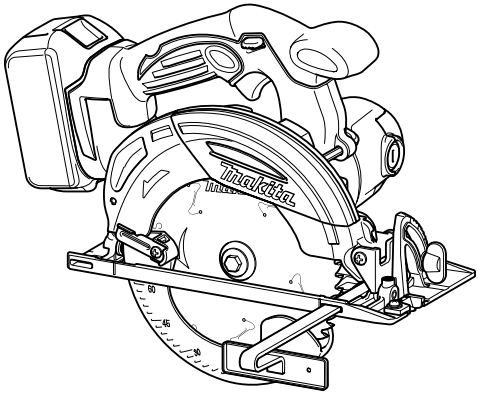
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書　充電式マルノコ

モデル　HS630D



このたびは**充電式マルノコ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目次

・主要機能 ----------3
・充電工具共通の安全上のご注意 ----------5
・充電式マルノコ安全上のご注意 ----------10
・各部の名称および標準付属品 ----------14
・別販売品のご紹介----------15
・使い方----------16
・バッテリの取り付け・取りはずし方 ----------16
・バッテリ保護機能 ----------17
・バッテリについて ----------17
・バッテリの充電方法----------18
・充電完了メロディーの切り替え方法 ----------19
・充電表示ライトについて ----------20
・冷却システムについて----------21
・オートメンテナンス機能について ----------22
・バッテリを長持ちさせるには----------22
・バッテリの回収について ----------22
・充電器の点検・修理・保管について ----------22
・ノコ刃の取り付け・取りはずし方 ----------23
・六角棒レンチの収納----------24
・切り込み深さの調整----------25
・傾斜角度の調整 ----------26
・平行度の微調整 ----------26
・直角・傾斜切り微調整----------27
・スイッチの操作 ----------28
・ライトの点灯----------29
・トップガイド----------29
・切断方法 ----------30
・一回の充電での作業量----------30
・平行定規の使い方 ----------31
・ダストノズルについて----------32
・ダストノズルの取り付け方 ----------32
・集じん機との接続 ----------32
・保守・点検について ----------33
・カーボンブラシの点検----------33
・カーボンブラシの交換----------33
・本機のお手入れ ----------34
・ご修理の際は----------34

主要機能

モデル / 主要機能	HS630D
電動機	直流マグネットモータ
バッテリ	リチウムイオンバッテリ
	BL1830（容量 3.0 Ah）
	BL1840（容量 4.0 Ah）
	BL1850（容量 5.0 Ah）
電圧	直流　18 V
回転数	3,100 min^{-1}（回転 / 分）
ノコ刃寸法	外径　165 mm ×内径　20 mm
使用できるノコ刃の外径	160 ～ 165 mm
最大切り込み深さ	66 mm（90 °）/46 mm（45 °）
傾斜切断	0 ～ 45 °
本機寸法	長さ 346 mm ×幅 220 mm ×高さ 247 mm
質量（バッテリ含む）	3.2 kg

充電器	DC18RC
入力電圧	単相交流 100 V
入力周波数	50-60 Hz
入力容量	410 VA
出力電圧	直流 7.2-18 V
出力電流	直流 9 A

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

充電工具共通の安全上のご注意

JPA002-43

⚠ 警告

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「充電工具」は、充電式（バッテリパック式）電動工具を示します。

a) 作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。

2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
- 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。

3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
- 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
- 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

b) 電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。接地付きプラグは確実にアースをしてください。
- 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
- 感電する恐れがあります。

3. 充電工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
- 充電工具内部に水が入り、本機による感電やバッテリが短絡する恐れがあります。

4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
- 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
- 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。

5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠警告

c) 作業者に関する安全事項

1. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、充電工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。

・ 理解せずに使用することは危険です。

2. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、充電工具を使用しないでください。
・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

3. 安全保護具を使用してください。

・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用してください。

4. 不意な始動は避けてください。

・ スイッチに指をかけて運ばないでください。

5. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。

6. 無理な姿勢で作業をしないでください。

・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

7. きちんとした服装で作業してください。

・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

8. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

d) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った充電工具を使用してください。

・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。

・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリを本機から抜いてください。

・ 本機の調整
・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
・ 保管、または修理
・ その他危険が予想される作業

⚠警告

4. **使用しない充電工具は、きちんと保管してください。**
・ 子供の手の届かない安全な所、乾燥した鍵のかかる所に保管してください。
5. **充電工具の保守点検をしてください。**
・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. **先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。**
・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. **充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。**
・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
8. **極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。**

e) 充電工具の使用と手入れ
1. **バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。**
・ スイッチがオンの位置にあるときにバッテリを差し込むと事故につながります。
2. **バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。**
・ ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. **マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。**
・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. **バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。**
・ バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
・ 本機または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください。
5. **高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。**
・ 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
・ バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

⚠警告

f) 整備

1. **充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。**

・ 本機、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

その他の安全事項

1. **損傷した部品がないか点検してください。**

・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
  ＜異常・故障例＞
  - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  - 電源コードに深いキズや変形がある。
  - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. **正しい付属品やアタッチメントを使用してください。**

・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. **材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。**

・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)

4. **使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。**
5. **落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。**
6. **ご使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。**

・ 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

7. **ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。**

・ 爆発や火災の恐れがあります。

⚠警告

8. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
- 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

9. 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

10. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

11. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

12. バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
- 発火、破裂の恐れがあります。

13. バッテリに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
- 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

14. バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
- バッテリを周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

15. 正しく充電してください。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く。）異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10 ℃未満、または周囲温度が 40 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。バッテリや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
- 電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。

16. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式マルノコ安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式マルノコとして、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB056-16

⚠ 警告

切断作業に関する注意事項

1. **危険！ノコ刃や、切断している周辺と前後には手や顔を近づけないでください。ハンドルを握っていない手はモーターハウジングに添えてください。**
   - 回転するノコ刃が人体に触れると重大なけがの原因になります。
   - 本機を両手で保持することで、ノコ刃で手を切る恐れが軽減されます。
2. **切断する材料の下には手を入れないでください。**
   - 材料の下は安全カバーで保護されないため、けがの原因になります。
3. **使用前に切り込み深さを材料にあわせて調整してください。**
   - 材料の下から刃底が見えないように調整してください。
4. **切断する材料を決して手で持ったり足で押さえたりしないでください。切断する材料は、安定した台に固定してください。**
   - 刃物への手足の露出や、後述する「キックバック」を防ぐには、材料を適切に固定する事が大切です。
5. **切断部分の近くに隠れた電気配線などがあるときは、切断や接触しないように十分に注意してください。また、絶縁されたハンドルだけを握ってください。**
   - 電気配線などを切断や接触すると、本機の金属部に通電して、感電の恐れがあります。
6. **縦に切断（縦引き）するときは、常に平行定規を使用してください。**
   - 精度が向上するとともに、ノコ刃の噛むことが低減されます。
7. **本書指定のサイズ・形状・取り付け穴のノコ刃を必ず使用してください。**
   - 本機の取付金具に合わないノコ刃は、偏心による制御不能を招く恐れがあります。
8. **ノコ刃の取り付けは、指定の部品を用いて確実に取り付けてください。**
   - 指定のフランジやボルトは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

⚠警告

キックバックの原因と対策

ノコ刃が加工材料に噛んだり偏心したときに、反動で本機がせり上がり、作業者に向かってくることがあります。これを「キックバック」と言います。
ノコ刃が切り口に強くはさまれて止められると、モーターの反動で本機が作業者に向かって急激に押し返されます。
切断中にノコ刃がひねられたり偏心すると、ノコ刃後端の歯が材料表面をけり、ノコ刃が切り口から飛び上がって作業者に向かってはね返ります。
キックバックはマルノコの誤使用が引き起こします。以下は「キックバック」によるリスクを最小限にするための注意事項です。

1. **使用時は本機を両手でしっかりと保持し、キックバックに耐えるよう腕を備えてください。また、切断線と一直線にならないように身体を左右どちらかによけて位置してください。**
2. **刃物が切り口にはさまったり何らかの理由でノコ刃が止まった場合、スイッチを切ってノコ刃が完全に停止するまで本機を動かさないで保持してください。ノコ刃が動いている間は、ノコ刃を切り口から外したり、本機を後ろに引いたりしないでください。**

・ ノコ刃が動いている間に切断方向以外に本機を動かすと、キックバックを招きます。
・ ノコ刃を完全に停止してから、ノコ刃がはさまった原因の確認と対処をしてください。

3. **ノコ刃が材料の中にあって再始動するときは、ノコ刃が材料と噛み合っていないことを確認してください。**

・ ノコ刃が噛み合っていると、本機を再起動したときにキックバックが起こります。

4. **面積の広い材料を切断するときは、材料の両端と切断部分の近くを固定してください。**

・ 両端と切断部分を支持する事で、材料が自重でたわむのを防ぎ、キックバックを減らせます。

5. **損傷や磨耗の激しいノコ刃は使用しないでください。**

・ 鋭利でない、または正しく取り付けられていないノコ刃を使うと、切り口が狭くなり、摩擦でノコ刃がはさまれたりキックバックしやすくなります。

6. **使用前に切り込み深さ調整レバー、および角度調整レバーが確実に固定されていることを確認してください。**

・ 切断中にノコ刃の深さや角度がかわると、ノコ刃がはさまれるまたはキックバックの恐れがあります。

7. **壁のように裏側が見えない箇所などを切断するときは、特に注意してください。**

・ 裏側に出たノコ刃が、キックバックを招くものに触れる恐れがあります。

⚠警告

安全カバーに関する注意事項

1. ご使用前に、安全カバーを適切に閉じることを確認してください。安全カバーが自由に動かない、または瞬時に閉まらないときは、本機を使用しないでください。決して安全カバーを開けた位置で固定したり取り外したりしないでください。
- マルノコを不意に落としたときに、安全カバーが曲がることがあります。そのときは安全カバーのレバーを操作して、安全カバーが自由に動き、すべての切り込み深さや角度でノコ刃やその他の部品に接触しないか確認してください。

2. 安全カバーのバネの動きを確認してください。もし安全カバーとバネが正しく動かないときは、ご使用前に修理をお申し付けください。
- 部品の損傷や粘着物、切りくずの堆積により、安全カバーが瞬時に閉まらなくなることがあります。

3. 安全カバーは特殊な切断時以外は手動で操作しないでください。材料との位置関係の都合で安全カバーが自動的に開かない場合だけ、安全カバーのレバーを最小限引き上げてください。ノコ刃が材料に入ったらすぐにレバーを離してください。
- それ以外の作業では安全カバーを手動で操作しないことで、ノコ刃への接触の恐れを低減できます。

4. 本機を作業台などに置くときは、ノコ刃が停止して安全カバーで覆われていることを確認してください。
- スイッチを切った後もノコ刃が慣性によりしばらく回りつづけます。
- ノコ刃が安全カバーで覆われ完全に止まる前に本機を置くと、本機は後ろに走り、途中にあるすべてのものを切断します。

その他の注意事項

1. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲のノコ刃を使用してください。また、刃底径が 130 mm 以下のノコ刃は使用しないでください。
- けがの原因になります。

2. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。また、切り落とした材料がノコ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、ノコ刃の出ししろの 3 倍以上にしてください。
- このような台がないと、けがの原因になります。

3. 本機を万力などで保持した使い方はしないでください。
- 不意の接触などで、けがの原因になります。

4. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
- そのまま使用していると、けがの原因になります。

5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ノコ刃や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠注意

1. 刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
3. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
4. 作業前に、人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、本機の振動やノコ刃の振れなどの異常がないことを確認してください。
・ 異常があるとけがの原因になります。
5. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
・ 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
6. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
7. 切断しようとする材料の前方に手を置いたまま作業しないでください。
・ けがの原因になります。
8. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
・ けがの原因になります。
9. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
・ 材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。
10. 切断砥石を使用しないでください。

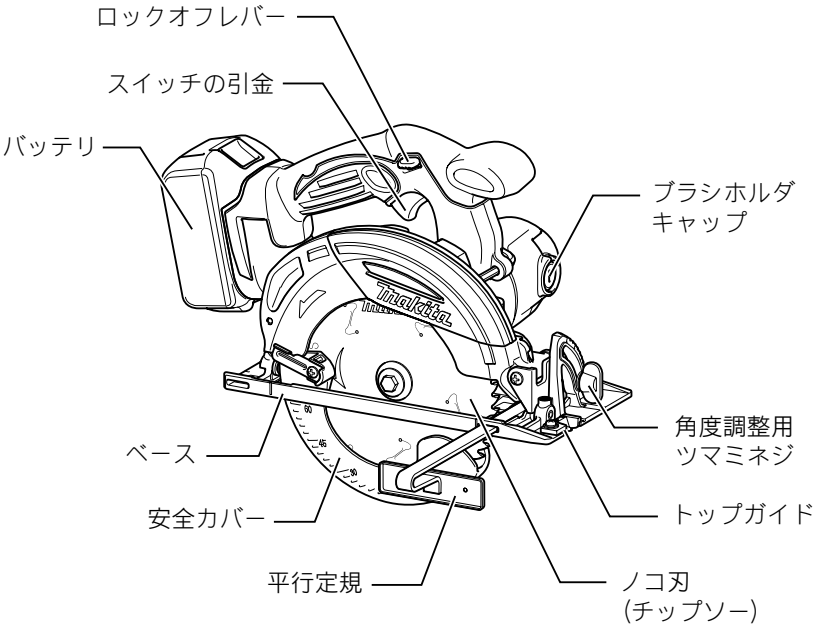
注

・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの長さの目安
2.0 mm^2	30 m

各部の名称および標準付属品



標準付属品

モデル / 標準付属品	HS630DZ	HS630DRFX	HS630DRMX	HS630DRTX
バッテリ	×	○ BL1830 (3.0 Ah) (2個)	○ BL1840 (4.0 Ah) (2個)	○ BL1850 (5.0 Ah) (2個)
充電器 (充電時間)	×	○ DC18RC (約22分)	○ DC18RC (約36分)	○ DC18RC (約45分)
平行定規	○			
六角棒レンチ (本機取り付け)	○			
チップソーブレード	○			
プラスチックケース	×	○		
バッテリカバー	×	○ (2個)		

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店、もしくは当社営業所へお問い合わせください。

	部品番号	外径（mm）	内径（mm）	歯数
集成材用	A-49367	165	20	52
一般木工造作用	A-48549			72
一般木工用	A-48533			55

・ 2 本ポール平行定規
部品番号　122681-1

・ 傾斜定規（580 mm）
部品番号　192318-4

・ 平行定規 600
部品番号　164614-0

・ ダストノズル
部品番号　A-47444

・ 直角定規
部品番号　JPA123031

・ セーフティゴーグル（保護メガネ）
部品番号　191686-2

・ 傾斜定規（350 mm）
部品番号　122253-2

・ 傾斜定規（左きき用）
部品番号　A-35863

・ プラスチックケース
部品番号　824995-1

・ バッテリ BL1830（容量 3.0 Ah）
部品番号　A-47896

・ バッテリ BL1840（容量 4.0 Ah）
部品番号　A-56596

・ バッテリ BL1850（容量 5.0 Ah）
部品番号　A-57196

・ 充電器　DC18RC
部品番号　JPADC18RC

⚠警告

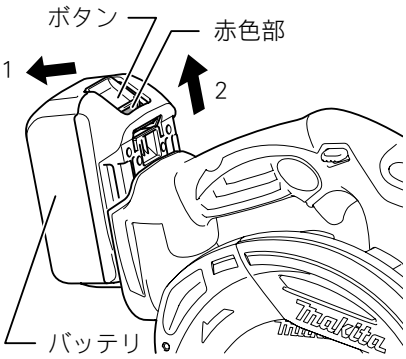
バッテリは確実に本機に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

バッテリの取り付け・取りはずし方

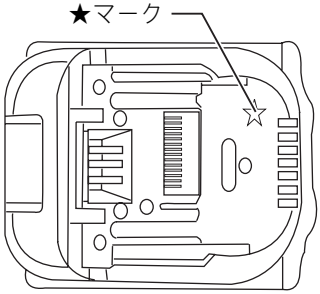
・ バッテリを本機から取りはずすときは、1. バッテリ正面のボタンを下げながら 2. スライドさせると取りはずせます。

・ 取り付けるときは逆の要領で、本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



バッテリ保護機能

バッテリ保護機能（★マーク付きバッテリを使用する場合）
バッテリ寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能がついています。
本機を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これはバッテリの保護機能によるものであり故障ではありません。



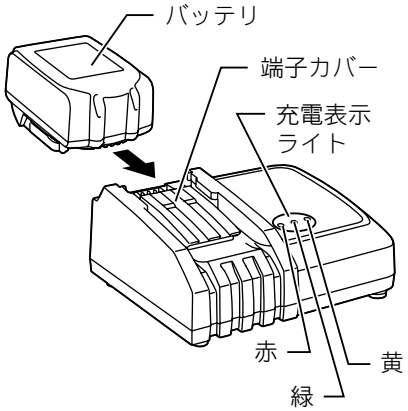
- 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止します。
  このときはいったんスイッチをはなし、本機よりバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
- バッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。
  このときはバッテリの使用を中断し、本機よりバッテリをとりはずし、バッテリを冷ますかまたは、充電してください。
- バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。
  このときは本機よりバッテリをとりはずし、バッテリを充電してください。

バッテリについて

- お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていません。（スイッチを操作すると本機は動くおそれがありますので注意してください。）ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

使い方

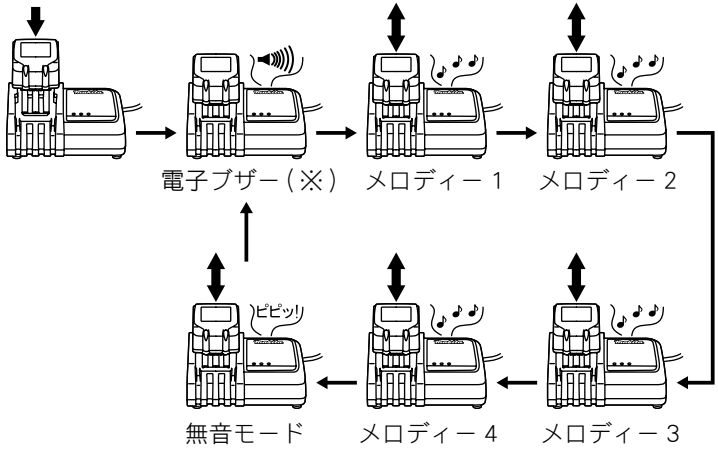
バッテリの充電方法



1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。充電器の端子カバーはバッテリ挿入に伴い開閉します。
3. バッテリを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーが短時間流れ、充電を開始します。充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。そのままバッテリを挿入しておけば、バッテリを冷却します。充電時間は周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態（新品・長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により変動します。
4. バッテリを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリを充電器に差し込むと、現在設定（※）されている充電完了メロディーの確認音が短時間流れます。
2. このとき、素早くバッテリを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。
3. 続けて素早くバッテリを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が流れましたら、バッテリを挿入したままにすることで充電を開始します。「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音がしません（無音モード）。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリ挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
   設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。



※ 出荷時は電子ブザーに設定されています。

充電表示ライトについて

充電表示ライト の内容は以下のようになっています。
（通常充 電のライト 表示および表示内容）

ライト表示 点滅 点灯	表示内容
○ 緑 ○	充電前「緑 1 個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
赤 ○ ○	冷却中「赤 1 個」点滅 バッテリが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
赤 ○ ○	充電中「赤 1 個」点灯 バッテリ容量約0～80％を示します。
赤 緑 ○	充電中「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリ容量約80～100％を示します。
○ 緑 ○	充電完了「緑 1 個」点灯　電子ブザー またはメロディー

（ オート メンテナンス時のライト 表示および表示内容）

○ ○ 黄	オートメンテナンス「黄」点灯 バッテリ寿命低下防止のため充電時間が長くなります。

（異常 時のライト 表示および表示内容）

赤 緑 ○	充電不可「赤・緑 1 個」交互点滅 電子ブザー バッテリ寿命またはゴミづまりで充電できません。
○ ○ 黄	冷却システム異常「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

注

- DC18RC はマキタバッテリ専用の急速充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- バッテリを連続で充電される場合は、充電時間が長くなることがあります。
- オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態に応じて変動します。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちください。
  ×充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
  ×バッテリを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
  ×充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、1 時間以上たっても充電が完了しない。（表示ライトが「緑」に変らない。）
- バッテリを使用しないときは、バッテリカバーをかぶせてください。
  バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

冷却システムについて

- バッテリの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなることがあります。このようなときは、充電器、バッテリの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- 充電器、バッテリの風穴をふさがないでください。
- 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

使い方

オートメンテナンス機能について

・ オートメンテナンス機能は、バッテリの使用状態に応じて自動的にバッテリを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
・ 下記 1 ～ 4 の状態となった場合、特にバッテリ寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
  1 高温充電の繰り返し
  2 低温充電の繰り返し
  3 満充電バッテリの再充電の繰り返し
  4 過放電の繰り返し
  (過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です)

バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 使用直後などの熱くなったバッテリは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは、充電してから保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管について

・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
  ×お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
  ×温度や湿度の急変する所
  ×湿気の多い所
  ×直射日光の当たる所
  ×揮発性物質の置いてある所

ノコ刃の取り付け・取りはずし方

⚠警告

ノコ刃の取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、本機よりバッテリを抜いてください。

・ バッテリを取り付けたまま行うと、事故の原因になります。

⚠注意

ノコ刃を取り付けるときは、本機についている矢印とノコ刃に付いている矢印の方向を合わせてください。

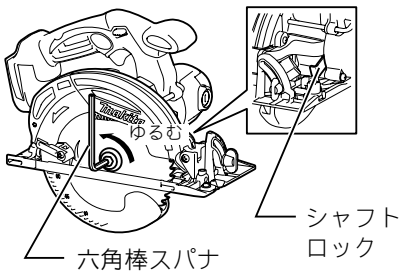
・ 矢印に合わせないとノコ刃の回転方向が逆となり、刃先を痛めたり、けがの原因になります。

ノコ刃の着脱は付属の六角棒レンチ以外の工具は使わないでください。

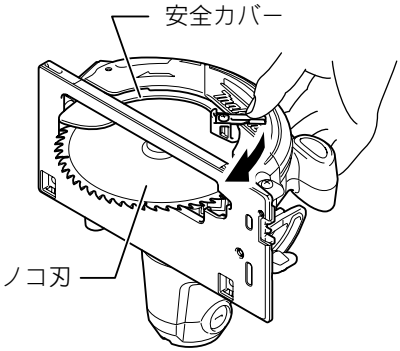
・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

取りはずし方

・ 取りはずすときは、シャフトロックを押し込み、ノコ軸の回り止めをし、六角棒レンチを使用してノコ刃を締め付けている六角ボルトを、左に回してはずしてください。



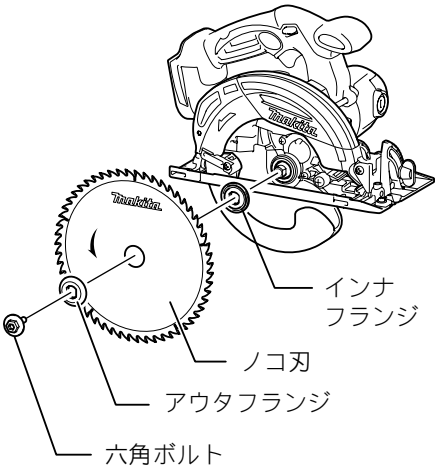
・ アウタフランジを取りはずし、手で安全カバーをいっぱいまで引き上げた状態で、ノコ刃を取りはずしてください。



使い方

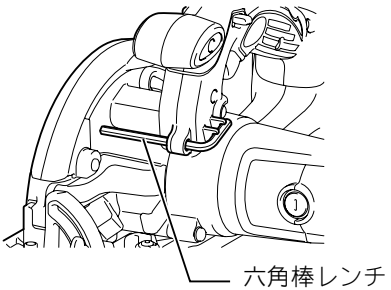
取り付け方

・ 取り付けるときは、取りはずし方の逆の要領で行ってください。ノコ軸にインナフランジ→ノコ刃→アウタフランジ→六角ボルトの順に取り付けてください。



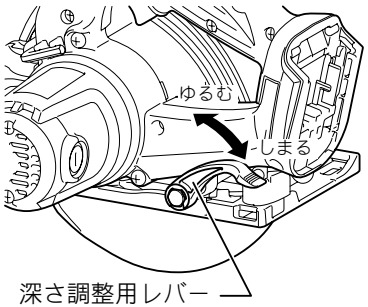
六角棒レンチの収納

・ 六角棒レンチを使用しないときは、図のように本機に収納してください。

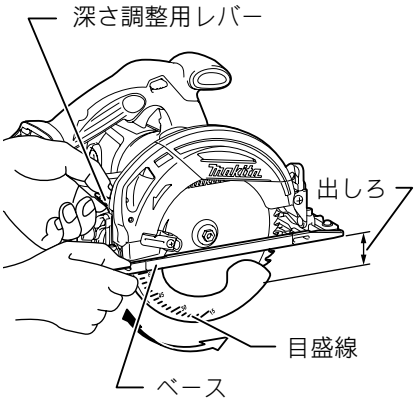


切り込み深さの調整

- 角度調整用ツマミネジ (前後 2ヶ所) がしっかり締め付けられていることを確認してください。
- 切り込み深さの調整はレバーをゆるめて、お望みの深さにベースを上げ下げして調整してください。調整後は、レバーをしっかり締め付けてください。



- 安全カバーにはノコ刃外径 165 mm 用の目盛が付いています。本機に付いている目盛線をベース面に合わせることでおおまかな切り込み深さに設定できます。ベースとノコ刃が直角のときは、この目盛を利用して切り込み深さが調整できます。目盛線は 3 mm（1 分）ごとに付いています。

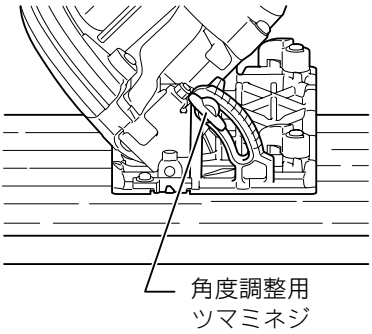


注

- 材料が薄いときは、切り込み深さを浅くしてお使いください。
- 切り込み深さを正確に調整するときは、ノコ刃の出しろを実測してください。なお、ベースとノコ刃を傾斜させているときは、この目盛線は使えません。
- 切り込み深さ調整レバー、角度調整用ツマミネジ（前後）をすべて一度にゆるめてしまうと、ベースがスムーズに上下しない場合があります。その場合は深さ調整レバーを一旦固定し、角度調整用ツマミネジ（前後）を締め付けてから再度切り込み深さの調整を行ってください。

傾斜角度の調整

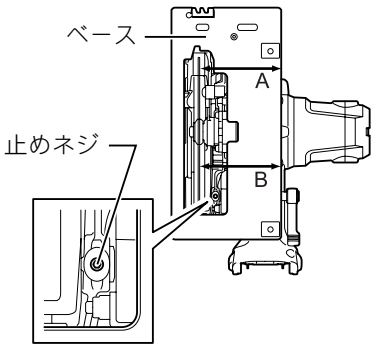
・ 深さ調整用レバーがしっかり締め付けられていることを確認してください。角度調整用ツマミネジ（前後２ヶ所）をゆるめて、お望みの角度（0 ～ 45 °）に本機を傾けてください。調整後は、角度調整用ツマミネジをしっかり締め付けてください。



平行度の微調整

・ ベース側面とノコ刃の平行度を微調整できます。
・ 出荷時には平行になるように調整してありますが、万一平行度が狂った場合には次のように調整してください。

① 深さ調整用レバーがしっかり締め付けられていることを確認してください。
② 止めネジを少しゆるめます。
③ 安全カバーを開けてブレードケースの中に引き込みます。
④ ベース側面からノコ刃までの寸法 A､B が同じになるように差し金で測りながらベース後ろ側を手で横方向に動かし調整します。



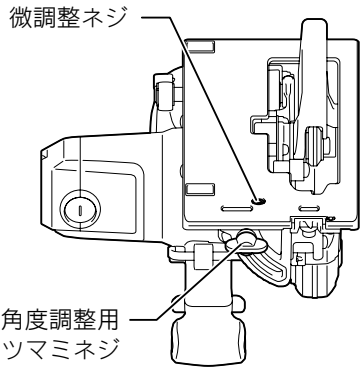
⑤ 調整後、止めネジをしっかり締め付けます。
⑥ ベニヤ板などを試し切りして、不具合がないことを確認してください。

注

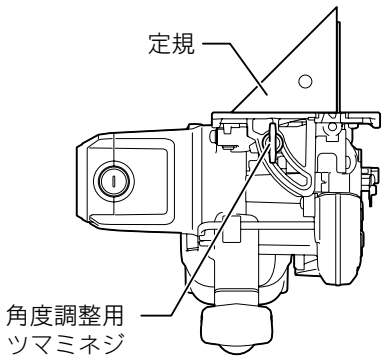
・ 深さ調整用レバー、角度調整用ツマミネジは締め付けた状態で調整してください。
・ 台金の部分で寸法を見てください。

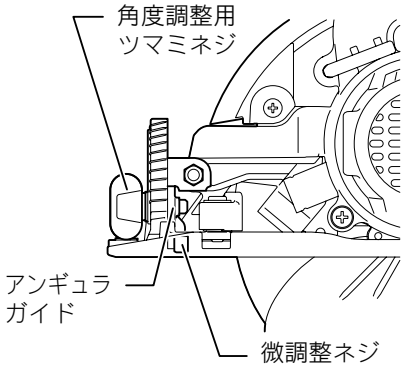
直角・傾斜切りの微調整

- 本機はノコ刃とベースの角度が正確に 90 ° になるように、微調整ができます。出荷時には 90 ° に調整してありますが、万一、角度が狂っているようでしたら、次のように調整してください。
- 微調整ネジをゆるめておきます。
- 角度調整用ツマミネジ (前後 2ヶ所) をゆるめます。



- 直角調整時はノコ刃とベースの底面に直角の出ているもの（さし金、直角定規など）を当て、直角になったところで微調整ネジをアンギュラガイドに当たるまで回します。
- 微調整ネジをアンギュラガイドに当てた状態で左右に回し 90 ° に調整した後、角度調整用ツマミネジ (前後 2ヶ所) をしっかり締め付けます。
- 再度ノコ刃とベースの底面に直角の出ているもの (さし金、直角定規など) を当て、直角になっていることを確認してください。





注

- 深さ調整用レバーは締め付けた状態で微調整してください。

使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

本機にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

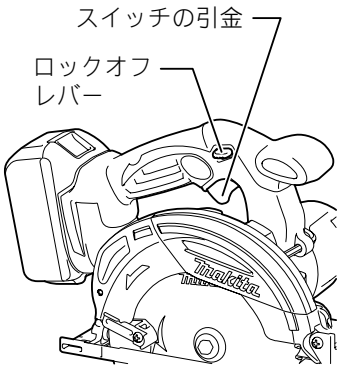
・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

⚠ 注意

本機はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本機をしっかりと保持してください。

・ 本機を落としたりして、けがの原因になります。

・ スイッチはロックオフレバーを押し下げた状態で引金を引くと入り、離すと切れます。
・ スイッチの引金を離すと自動的にロックオフレバーが戻り、スイッチが入らない状態になります。



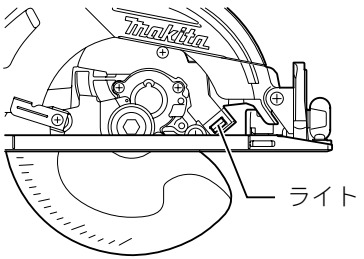
使い方

ライトの点灯

⚠注意

ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。
・ ライトの光が連続して目にあたると、目をいためる原因になります。

・ ロックオフレバーを押し下げないでスイッチの引金を引くとライトが点灯します。(本機は作動しません)
・ ロックオフレバーを押し下げながらスイッチの引金を引くとライトの点灯後、本機も作動します。

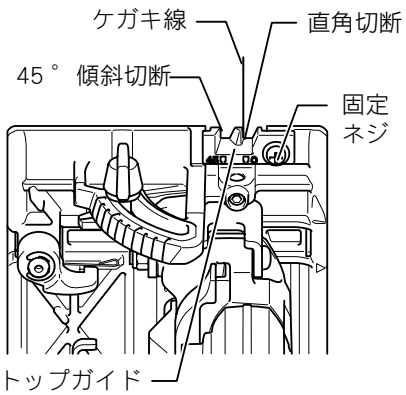


注

- **ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などで拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。**
- **ライトレンズ掃除の際はガソリン、シンナーなどで拭かないでください。レンズを傷めます。**

トップガイド

・ 直角に切断するときは、トップガイドの 0° の刻印のある方にケガキ線（墨線）を合わせてください。
・ 45° の傾斜切断をするときは、トップガイドの 45° の刻印のある方にケガキ線（墨線）を合わせてください。固定ネジをゆるめ、トップガイドの位置調整ができます。



使い方

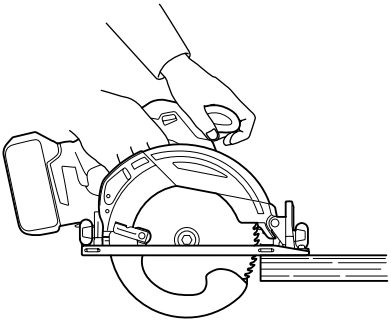
切断方法

⚠警告

切断中に本機をこじたり強く押し過ぎたりしないでください。

・ モータに無理がかかるばかりでなく強い反発力を生じ、けがの原因になります

・ 材料の上にベースをのせ、ノコ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ、ベースを材料に密着させ、ケガキ線（墨線）に合わせてください。
・ 本機をしっかり保持し、ノコ刃の回転が完全に上昇し安定したら、そのまま静かに前方へ進め、切り終わるまでこの状態を保ってください。



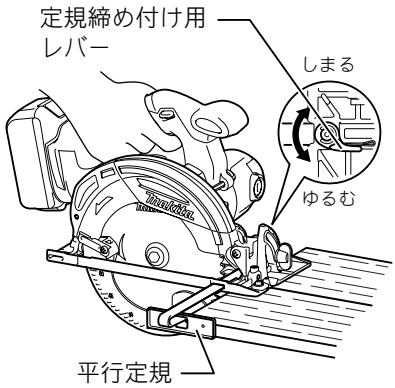
一回の充電での作業量

・ 数値は参考値です。
・ 数値は木材の状態、ノコ刃の切れ味などにより異なります。

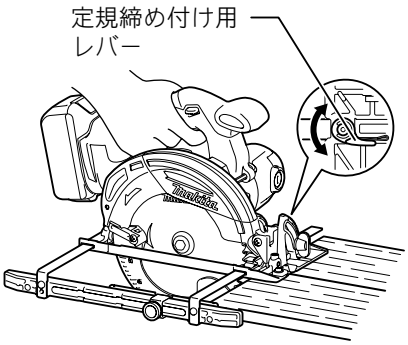
材料	作業量	
米松材（厚さ 50 mm ×幅 300 mm）	バッテリ BL1830	約 55 本
	バッテリ BL1840	約 75 本
	バッテリ BL1850	約 90 本

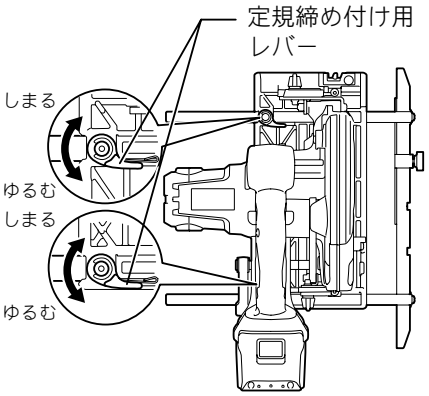
平行定規の使い方

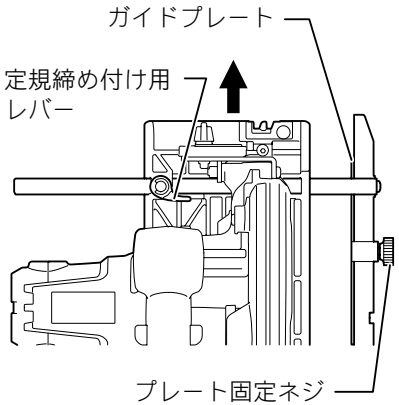
- 平行定規は一定の幅で切断したいときに使用してください。
- 平行定規を取り付けるときは、ベースの前部にある定規取り付け口に定規を差し込み、定規の側面を材料の側面にピッタリと付けて、レバーでしっかり締め付けてください。



- 2 本ポール平行定規を取り付けるときは、ベースの前後にある定規取り付け口に定規を差し込み、定規のガイドプレートを材料の側面にピッタリと付けて、レバーでしっかり締め付けてください。平行定規は右側、左側どちらからでも取り付けができます。このときガイドプレートは前側いっぱいに移動し、プレート固定ネジをしっかり締め付けてください。







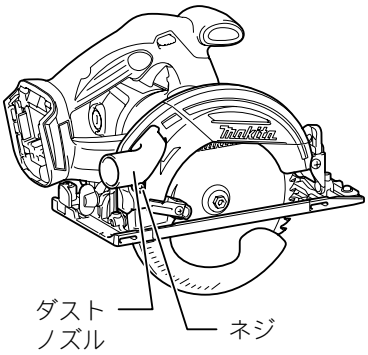
使い方

ダストノズルについて

・ 本機にダストノズルを取り付けることにより当社集じん機と接続でき、衛生的に作業をすることができます。

ダストノズルの取り付け方

・ 本機に図のようにネジで取り付けてください。



集じん機との接続

・ ダストノズルに合うホース、ジョイントを使用して集じん機へ接続してください。詳細は総合カタログを参照してください。

注

・ 集じん機を接続しない場合は、ダストノズルをはずしてください。ダストノズルを取り付けたまま使用すると、切屑がつまる場合があります。

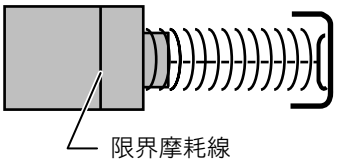
保守・点検について

⚠警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機よりバッテリを抜いてください。
バッテリを取り付けたまま行うと、事故の原因になります。

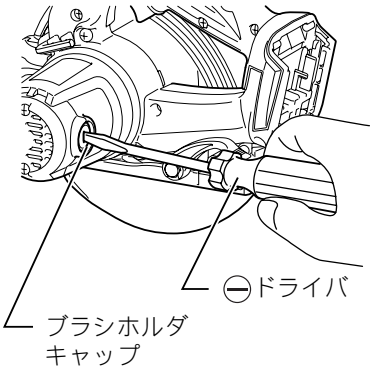
カーボンブラシの点検

・ カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。



カーボンブラシの交換

・ ⊖ドライバでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動く確認してください。



注

・ 新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。指定以外のカーボンブラシを使用しますとブレーキがかからないことがあります。

保守・点検について

本機のお手入れ

・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

メモ

882556B3
NNP

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 （代表）